

1. 目的 助成の主旨

本基金は、ものづくりに関する領域において各種支援活動を行い、広く深くものづくりに貢献することにより、科学技術の振興を図り、社会経済の発展と国民生活の向上に寄与することを目的に設立しました。

- (1) 生産技術に関する研究開発に対する支援
- (2) 独創的な製品に関する研究開発に対する支援
- (3) 科学技術分野における人材育成事業に対する支援
- (4) 科学技術の振興に資する交流、普及、啓発に関する活動およびこれらの活動に対する支援
- (5) その他この法人の目的を達成する為に必要な事業

科学技術分野において生産技術、製品開発等で研究開発業務に従事している人又はその団体へ助成を行います。

助成事業としては、(事業1) 研究開発助成 と (事業2) 啓発教育助成です。

2. 2023年度助成事業の募集要項一覧

応募資格 申請者条件	助成先対象は、国内に所在する大学・高専・公共研究機関等にて生産技術、製品開発分野で研究開発業務に従事している者及び科学技術啓発教育分野を支援している大学及び公共研究機関等の団体。 (注1) 若手研究者(助成期間中博士課程(後期)の学生、ただし研究完了時35歳以下)を推奨。 (注2) 国立の研究機関等で既に大型プロジェクトに参入している方の応募は遠慮下さい。	
助成対象	(事業1) 研究開発助成 ものづくりに関する環境負荷低減に寄与する研究開発 (1) 素材から製品まで一貫した生産技術に関する研究開発 (2) 未来を切り拓く独創的な製品に関する研究開発 (3) 環境負荷低減に寄与する新たな材料等に関する研究開発	(事業2) 啓発教育助成 ものづくりに関する研究開発助成の対象分野の啓発教育に関わる申請者主催の啓発教育活動の準備費用 教育対象は子供から大学院生までを推奨する。
助成分野 (カテゴリ例)	i) 塑性加工-金属の塑性を利用した加工に関する研究 (板成形, 鍛造, チューブフォーミング, スピニング加工, 引抜き加工 等) ii) 生産システム - 金属の特性を利用した溶融、接合、組立技術及びその生産システムに関する研究 (レーザー加工, 金属3Dプリンタ, 溶接, ロボット, 組立運搬等 生産システム) iii) 型・設備 - ものづくりに必要な金型、治工具、設備に関わる研究 (造型技術, 治具機構, プレス機械, 機械要素 等) iv) 製品 - 自動車等輸送機器に関する環境負荷低減を目的とした研究 (消音, 浄化, 熱利用, EV化, 軽量化ボディ構造 等の研究開発) v) 材料 - 環境負荷低減に寄与する新たな金属材料等に関する研究 (軽量化金属(チタン系材料, アルミ系材料, 高張力鋼板等), エンジニアリングプラスチック, 複合材料 等)	i) イベント・会議 ii) シンポジウム iii) セミナー、研修会 iv) 講演会 v) 教育講座・体験プログラム (例) 青少年参加のものづくり体験プログラム等
助成件数 と助成金	研究開発に要する費用。 10件程度。 1 テーマにつき100万円 ~ 200万円とする。	啓発教育に関連する会議・集会等の開催に要する費用。 5件程度 1件 20万円とする。
助成期間	1年(2024年4月 ~ 2025年3月の間で完了する研究及び活動の事業)、研究期間が複数年にわたる場合は、毎年応募願います。	
応募方法	財団指定の申請書にて応募。申請書はホームページからダウンロードください。 申込みフォームにそって、必要事項記入し、ホームページ上から送信ください。	
申込期間	受付 2023年8月1日 ~ 9月30日まで。(事務局必着)	
選考基準	研究内容の独創性、発想の新規性等、助成目的に適合し実施計画に妥当性を有すること等、当財団選考基準による。特にカーボンニュートラル観点から、省エネ、少工程化に寄与する研究は評価する。	科学技術の振興と発展に関連する活動、集会、セミナー等啓発教育活動であること等、当財団選考基準による。特に複数年に渡り継続的に計画された教育活動は評価する。
選考方法	当財団に設置する選考委員会にて選考審査後、理事会にて決定する。	
通知・助成	12月末までに選考審査、内定通知(予定)。3月までに理事会にて承認、3月末助成金を支給(予定)。	
採用後 成果報告 (注3)	研究終了後に「成果報告書」「研究開発報告書」を提出。 翌年度5月10日まで。研究途中の場合は、中間経過報告として提出。 (注3) 助成事業採用後については、ホームページ助成事業の「助成金受給者へのお願い1、2」を確認願います。	啓発教育助成「成果報告書」「啓発教育報告書」を提出。 活動終了後3カ月以内。
その他	複数年に渡り応募する場合は都度申請してください。応募回数制限はありません。 研究開発助成において、継続申請する場合は、活動中案件の進捗と活動中案件との変化点を明確に記載をお願いいたします。 出産・育児・介護などの理由で研究活動を中断した研究者は、助成対象期間・成果報告次期を考慮する場合がありますので事務局へご相談ください。	
申請先	〒456-0023 愛知県名古屋熱田区六野一丁目3番1号(株)三五内 公益財団法人三五ものづくり基金	
お問い合わせ	お問い合わせは、ホームページのお問い合わせフォームより願います。 https://sango-mono.or.jp/contact.html	